

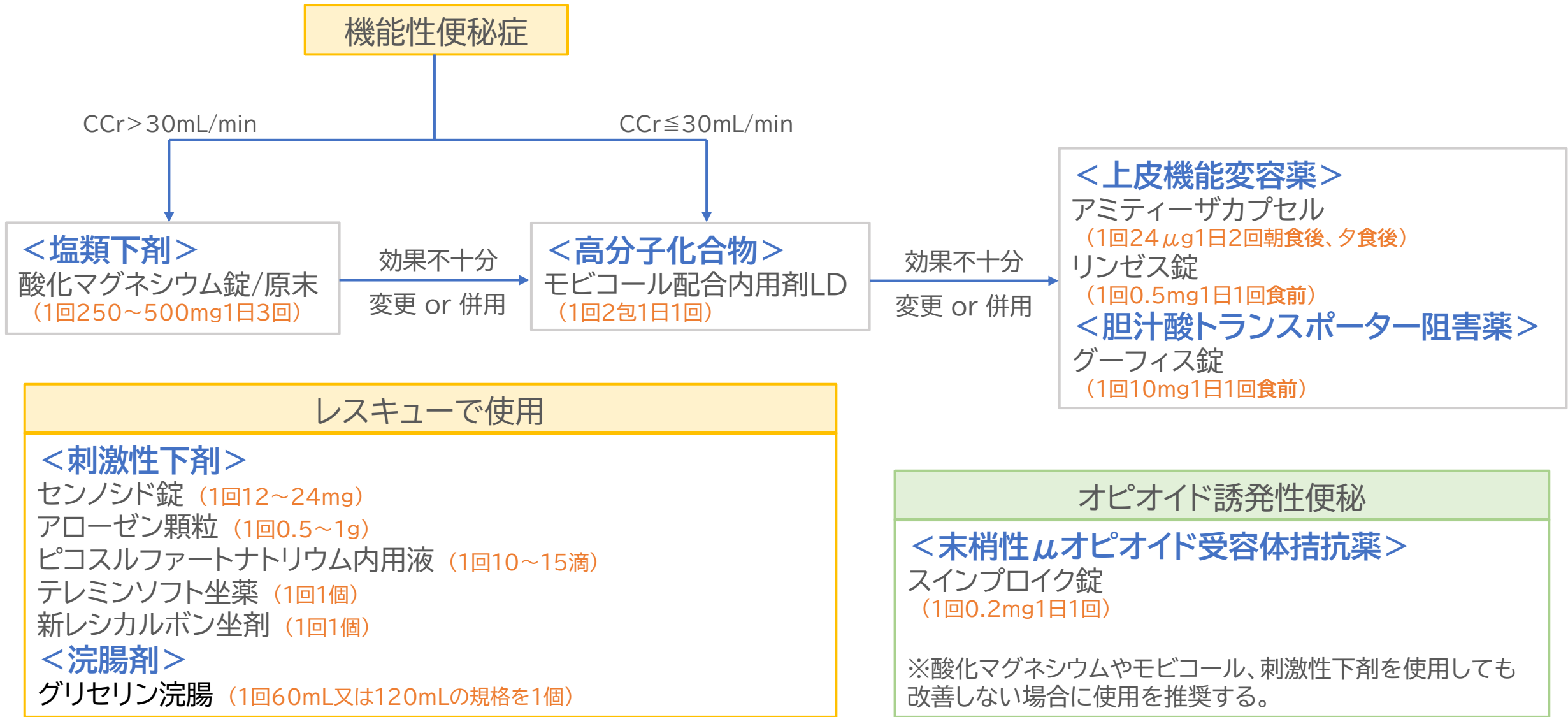
フォーミュラリー(成人における便秘治療薬)

優先順位	推奨医薬品	薬価(2024/8時点)	
第一選択薬	酸化マグネシウム錠/原末	錠剤 (250、330、500mg)	5.7円
		原末(0.5g/包)	1.5円
第二選択薬	モビコール配合内用剤	LD	65.7円
第三選択薬	アミティーザカプセル	12 μ g	49.9円
	リンゼス錠	0.25mg	69.1円
	グーフイス錠	5mg	84.2円
レスキュー	センノシド錠	12mg	5.1円
	アローゼン顆粒	0.5g	3.5円
	ピコスルファートナトリウム内用液	1mL	8.5円
	テレミンソフト坐薬	10mg	20.3円
	新レシカルボン坐剤		70.9円
	グリセリン浣腸	60/120	113.1円/151.3円
オピオイド誘発性便秘	スインプロイック錠	0.2mg	277.1円

※妊婦・授乳婦に関しては、【妊婦・授乳婦に対する薬剤師相談対応】までお問い合わせください

消化器内科、薬剤部にて協議

フォーミュラリー(成人における便秘治療薬)



フォーミュラリー(成人における便秘治療薬)

《補足》

- ❖ 優先度の高い薬剤から使用し、効果が不十分な場合は次の優先度の薬剤に変更あるいは追加すること。
- ❖ 酸化マグネシウムは腎機能に注意が必要で、クレアチニンクリアランス30mL/min未満では禁忌であり、酸化マグネシウムが使用できない場合はモビコールから開始すること。また長期服用患者やクレアチニンクリアランス30mL/min以上の腎機能軽度・中等度低下の患者、高齢患者においても副作用(高マグネシウム血症)を起こしやすいため注意すること。
- ❖ 刺激性下剤は耐性や習慣化を避けるため、頓服での投与を推奨する。
- ❖ オピオイド誘発性便秘に対するスインプロイクの使用は、酸化マグネシウムやモビコール、刺激性下剤を使用しても改善しない場合に推奨する。